

資料2 事業実績シート

「横浜みどりアップ計画」(新規・拡充施策)全56の事業・取組の内容や効果について、図や写真、事業に対して寄せられた市民の方の声などを用いて説明するシートです。

取組の柱	事業・取組 [凡例] ：新規事業(横浜みどり税充当)、：拡充事業(横浜みどり税一部充当) ：新規事業等(横浜みどり税非充当)、・：事業費のないもの	掲載ページ
樹林地を守る	1 ・ 緑地保全制度等の拡充	資料2- 1
	2 ・ 篤志の奨励制度	資料2- 2
	3 緑地再生・管理事業	資料2- 3
	4 緑地防災・安全対策事業	資料2- 3
	5 市民協働による緑地維持管理事業	資料2- 4
	6 森づくりリーダー等育成事業	資料2- 5
	7 森づくりボランティア活動助成事業	資料2- 6
	8 愛護団体活動アップ支援事業	資料2- 6
	9 景観の森・生き物の森事業	資料2- 4
	10 森の中のプレイパーク事業	資料2- 7
	11 森の収穫物体験事業	資料2- 8
	12 里山ライフ体験事業	資料2- 8
	13 健康の森事業	資料2- 9
	14 横浜の森の自然・生き物情報発信事業	資料2- 9
	15 みどりの夢かなえます事業	資料2-10
	16 間伐材資源循環事業	資料2-11
	17 間伐材活用クラフト作成事業	資料2-11
	18 愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業	資料2-12
	19 ウェルカムセンター整備事業	資料2-12
	20 森の恵み塾事業	資料2-13
	21 特別緑地保全地区指定等拡充事業	資料2-15
	22 ・ よこはま協働の森基金制度の見直し	資料2- 2
	23 ・ 国への制度要望	資料2-18

取組の柱	事業・取組 [凡例] ：新規事業(横浜みどり税充当)、：拡充事業(横浜みどり税一部充当) ：新規事業等(横浜みどり税非充当)、・：事業費のないもの	掲載ページ	
農地を守る	24 ・ 生産緑地制度の活用	資料2-19	
	25 農園付公園整備事業	資料2-20	
	26 ・ 農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減	資料2-21	
	27 共同直売所の設置支援事業	資料2-22	
	28 収穫体験農園の開設支援事業	資料2-23	
	29 施設の省エネルギー化推進事業	資料2-24	
	30 生産用機械のリース方式による導入事業	資料2-25	
	31 集团的農地の維持管理奨励事業	資料2-26	
	32 水田保全契約奨励事業	資料2-27	
	33 かんがい施設整備事業	資料2-28	
	34 不法投棄対策事業	資料2-29	
	35 環境配慮型施設整備事業	資料2-30	
	36 機械作業受託組織育成事業	資料2-31	
	37 担い手コーディネーター育成・派遣事業	資料2-32	
	38 農業後継者・横浜型担い手育成事業	資料2-34	
	39 農地貸付促進事業	資料2-35	
	40 市民農園用地取得事業	資料2-20	
	41 農地流動化促進事業	資料2-35	
	緑をつくる	42 ・ 国への制度要望	資料2-18
		43 地域緑化計画策定事業	資料2-36
44 民有地地域緑化助成事業		資料2-36	
45 公共施設地域緑化事業		資料2-36	
【民有地緑化助成事業(46～51)】			
46 保育園・幼稚園芝生化事業		資料2-37	
47 区民花壇事業		資料2-38	
48 生垣設置事業		資料2-38	
49 屋上緑化助成事業		資料2-38	
50 名木古木保存事業		資料2-39	
51 記念樹等生産配布事業		資料2-40	
52 公共施設緑化事業		資料2-41	
53 公共施設緑化管理事業		資料2-41	
54 いきいき街路樹事業		資料2-42	
55 ・ 民有地緑化の誘導等		資料2-43	
56 ・ 建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減		資料2-44	

1 緑地保全制度等の拡充

■ 概要

- ・ 指定による緑地の保全を進めるため、特別緑地保全地区や源流の森の指定要件を引き下げます。
- ・ 小規模樹林地（300 m²以上）について、所有者と市との契約により市民公開する「市民緑地」制度の導入に向けた検討を進めます。
- ・ 樹林地の所有者と市が管理に関する協定を締結することで、所有者の管理負担の軽減等を図れる「管理協定」制度の導入に向けた検討を進めます。

■ 実績・状況

- ・ 源流の森の指定要件を引き下げました。
 - ▶ 源流の森の指定が進みました。
 - (変更内容)
 - 指定の最低限の面積を引き下げました。
 - 従前：5,000 m²以上 → 現在：1,000 m²以上
- ・ 「市民緑地」制度の活用を考え方を整理しました。
 - ▶ 「市民緑地」「管理協定」の導入に向けて検討します。

「市民緑地」制度活用の考え方

目的	樹林地の保全を図るとともに、市民の利用に供する樹林地として整備・公開することを目的とする。
対象となる樹林地	①300 m ² 以上概ね1ha未満 ②市民に公開し利用が可能となる樹林地
契約形態	①都市緑地法に基づく市民緑地契約を締結（使用貸借契約に相当／無償） ②契約期間は5年以上とし、10年契約もしくは20年契約できるように土地所有者と調整を図る (20年以上の契約の場合、相続税・贈与税の評価減有)
整備内容	利用者のニーズ等を勘案した必要最小限度のもの（園路、広場等を想定）
管理形態	①契約に基づいて横浜市が管理者となる。 ②清掃、草刈などの日常的な維持管理は地域団体等が行うことを想定 ③利用上の制限や禁止事項など、市民の利用に関するルールを設定
土地所有者への優遇措置	①固定資産税・都市計画税が非課税 ②相続税・贈与税の評価減（2割／20年以上の契約の場合）

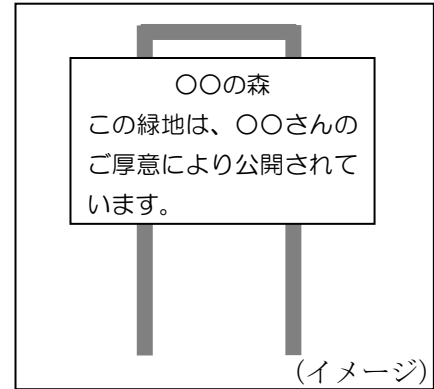
2 篤志の奨励制度

■ 概要

- ・ 良好な緑地の市民公開を進めるため、緑地の公開にご協力いただいた土地所有者の厚意に対して謝意を表する看板を設置するなど、顕彰する制度の検討を進めます。

■ 実績・状況

- ・ 緑地の公開制度である「市民緑地」制度の導入とあわせて検討を行いました。
- ・ 奨励制度の導入に向けて、検討を行います。



22 よこはま協働の森基金制度の見直し

■ 概要

- ・ 市民に身近な小規模樹林地を、市民と行政との協働により保全する「よこはま協働の森基金制度」について、より活用される制度とするため、適用条件の緩和等を図ります。

■ 実績・状況

- ・ 「市民緑地」制度など、緑地保全制度全体の拡充と併せて、面積要件・負担する取得費用・取得後の管理等の見直しについて検討を進めました。
- ・ 引き続き「市民緑地」制度等の検討と併せて、制度の見直しを進める必要があります。

よこはま協働の森基金事業の概要

□よこはま協働の森基金事業とは

市民に身近な小規模樹林地を市民と行政との協働により保全するため、「よこはま協働の森基金」を創設し、市民の皆さんが自主的に集めた資金と、「基金」からの拠出金とをあわせ、樹林地を取得する事業です。

□市民の皆さんの活動

- ・ 身近な樹林地の保全を発意し、土地所有者の方々から売却の承諾を得ます。
- ・ 募金活動を行い、取得費用の一部（1割以上）を集めます。
- ・ 取得後、樹林地の管理を行います。

□対象となる樹林地

市街地に残る樹林に覆われた良好な緑地で

- ・ 概ね 1,000 m²から 5,000 m²程度の一団のまとまりのあるもの
- ・ 境界が確定しているもの
- ・ 公道に接するか、又は管理用通路が確保できるもの などの条件があります。

3 緑地再生・管理事業

4 緑地防災・安全対策事業

■概要

土地所有者のご協力を得て市民に公開している樹林地や、緑地保全制度に指定している非公開の私有樹林地を対象に、明るく健全な樹林地とするため、間伐を主とした手入れのほか、樹林地と住宅地との境界部の草刈り等を行います。【緑地再生・管理事業】

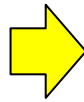
また、樹林地周辺住民の安全性の向上のため、樹林地外周部の危険木や越境木の撤去などを実施するとともに、危険斜面の崩壊予防のための整備を行います。【緑地防災・安全対策事業】

■事業実績

- ・公開している樹林地の市による再生・管理： 109ha（50箇所） 【写真1・2】
- ・非公開の私有樹林地に対する樹林地維持管理助成制度の創設、助成：19件
- ・危険斜面整備：1箇所（飯島市民の森・栄区） 【写真3】
- ・外周木撤去等：9箇所



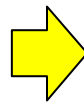
【写真1-1】再生・管理（施工前）
樹木が生い茂り見通しが悪く、怖くて歩きづらいという声が寄せられました。



【写真1-2】再生・管理（施工後）
間伐を行うことで、樹林地内の見通しが確保され、安心して散策することが出来るようになりました。



【写真2-1】再生・管理（施工前）
越境した枝、枯れた樹木、生い茂った雑草が民家に迫っていました。



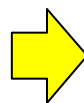
【写真2-2】再生・管理（施工後）
民家への危険がなくなりました。



- ・住宅地外周の樹木や竹林が整理されて、薄暗かったのが明るくなった
- ・屋根にかかりそうな枝や樹木を整理してもらえてよかった



【写真3-1】危険斜面整備（施工前）
飯島市民の森・栄区



【写真3-2】危険斜面整備（施工後）
安全に通れるようになりました。

5 市民協働による緑地維持管理事業 9 景観の森・生き物の森事業

■概要

市民の森など市民に公開している樹林地において、森を利用する人、管理する人、森の生物の立場から、森を将来どのような姿にしていけるか、そのためにどのような管理をして行くかなどの保全管理計画を市民と協働して定めます。【市民協働による緑地維持管理事業】

また、保全管理計画等の森の将来像に基づき、新緑や紅葉が美しい樹種、野鳥や昆虫が好む樹種等を植樹します。【景観の森・生き物の森事業】

■事業実績

- ・ 森の保全管理計画の策定：3箇所 【写真1・図1】
 (追分市民の森、矢指市民の森、東山ふれあいの樹林)
- ・ 景観や生物などに配慮した苗木の植樹：2箇所 (0.6ha) 【写真2】
 (追分市民の森、新治市民の森)



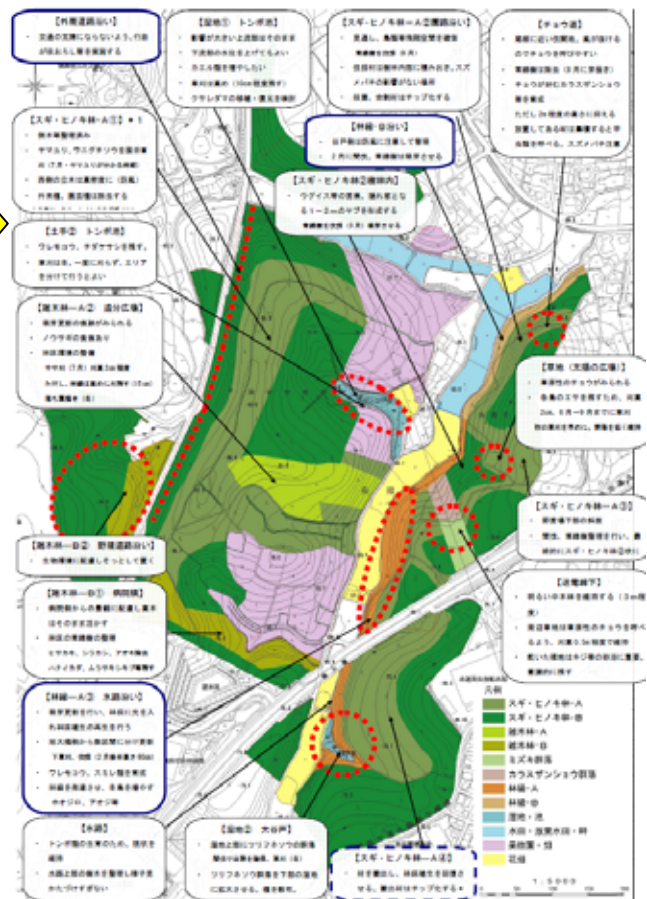
【写真1】保全計画

専門家の指導のもと市民協働で現地調査を実施しながら森の保全計画を策定しました。



【写真2】景観の森・生物の森

保全管理計画にもとづき、ニシキギ、マユミ、ツリバナ、ハナイカダ、クロモジなど、ムラサキシキブの苗木を植え、紅葉などが期待されます。



【図1】保全管理計画のイメージ



・ 義務的な作業から目的意識を持って活動が出来るようになりました。
 ・ 昔いた植物や動物を復活させることが出来るのでは？

6 森づくりリーダー等育成事業

■概要

森の維持管理を市民との協働による進めるために、森にかかわる人材育成を進めます。

具体的には、森の手入れ活動を行う「森づくりボランティア」や、森づくりボランティアの経験者で森づくりボランティアを指導する立場の「森づくりリーダー」、森を訪れた市民に森の情報を提供し案内を行う「はまレンジャー」を育成します。

■事業実績

- ・森づくりボランティア：研修2回実施（37人）
- ・森づくりリーダー：研修実施（4人）
- ・はまレンジャー：制度創設、説明会実施（4人）

【写真1】

【写真2】

【写真3】



【写真1】
森づくりボランティア
養成講座で実際の森づく
り活動を体験しました。

参加者の声

- ・この研修をきっかけに、いろいろな活動に参加してみたいと思いました。
- ・森づくり活動はどんなことをするのかわかって有益でした。



【写真2】森づくりリーダー養成講座（講義風景）

みどり豊かな横浜を次世代へ

「はまレンジャー」として 活躍してみませんか？

さまざまな種類の森、緑の森にはさまざまな生物が生息しています。また森には、四季やオーロラや雲、自然現象しながら季節の移り変わりを生み出している人たち、歴史や文化や自然の森づくり活動をする人たち、そして森の近くに住んでいる人たちなど、さまざまな立場で森を愛している人たちがいます。

「はまレンジャー」とは・・・
よりよい緑の森を将来に継承していくためには、まず、その森が「どんな森であるか」を知り、その基礎知識をもとに、森の保全活動を行っていただくことが必要です。
横浜では、森にすむ生物・歴史・文化など、さまざまな森の基礎知識を収集・整理し、森の魅力を市民へ伝える人材を「はまレンジャー」として養成していきます。

【写真3】はまレンジャー説明会チラシ

7 愛護団体活動アップ支援事業

8 森づくりボランティア活動助成事業

■概 要

市民の森やふれあい樹林等で森づくり活動をしている愛護会の、より積極的な活動に対して支援を行います。【愛護団体活動アップ支援事業】

また、森づくりボランティアについても、森づくり活動を自主的、計画的に進めることが出来るよう助成を行います。【森づくりボランティア活動助成事業】

■事業実績

- ・活動支援要綱の改定と支援の実施：
愛護会の研修参加6団体、愛護会へのアドバイザー派遣2団体 【写真1】
- ・樹林地管理団体活動支援事業助成制度の創設と助成の実施：
愛護会への助成1団体、森づくりボランティアへの助成1団体 【写真2】



【写真1】
愛護団体活動アップ支援
追分の愛護会にアドバイザー派遣を行いました。
管理計画に基づく作業の進め方や、作業後に起きる変化と生物のモニタリング等についてアドバイスをしました。



【写真2】
森づくりボランティア活動助成
鴨居原市民の森の間伐材を活用して、正月飾りを作るイベントに対して助成しました。
参加者は、約100人集まり、地域の自治会も参加するなど、多くの市民の方々に楽しんでいただくことが出来ました。

10 森の中のプレイパーク事業

■概要

木との触れあいや、遊びを通じて森林環境を考える心を育てる、樹林の特性を生かしたプレイパークを実施します。

■事業実績

- ・ イベントにおけるプレイパークの実施：6箇所
街なかプレイパーク5箇所
（鶴見区、西区、中区、南区、旭区/参加者2,199人）【写真1】
森なかプレイパーク1箇所（栄区 /参加者 50人）【写真2】



【写真1】街なかプレイパーク

木製遊具「木の砂場」設置やパネル展を山下公園やみなとみらい21、Y150ヒルサイド会場など5箇所で行いました。



参加者の声

- ・ 木の砂場、子供もすごく喜び楽しく遊ばせていただきました。木の温かさや香りに大人も癒されました。
- ・ 今の子供はあまり自然に触れることがないので自然のしくみを知るうえでも、木などに関わることは大切だと思います。



【写真2】森なかプレイパーク

横浜自然観察の森で「週末は森へ行こう～ワイルドライフ入門」と題して、イベントを開催しました。



参加者の声

- ・ 年間を通して自然を案内してもらえる講座があるといいと思います。
- ・ 自分達で（樹林地に）来ても気づかないことを教えていただき、勉強になりおもしろかったです。

11 森の収穫物体験事業

12 里山ライフ体験事業

概要

森の恵みを知り、感謝できるよう、竹林や農地のある市民の森等で収穫体験をし、その収穫物を活用する集い等を開催します。【森の収穫物体験事業】

また、里山の生活体験ができるよう、豊かな里山景観や古民家のある森等を活用し、里山生活・習慣を楽しめる体験イベントを開催します。【里山ライフ体験事業】

事業実績

- ・ 森の収穫物体験事業：体験イベント 4 回実施 【写真 1】
(緑、瀬谷区 / 参加者 85人)
- ・ 里山ライフ体験事業：体験イベント 3 回実施 【写真 2】
(緑、都筑、瀬谷区 / 参加者 57人)



【写真 1】森の収穫物体験事業
春を告げる里山の恵みを楽しむ “ふきのとう” 味わい体験（長屋門公園）のふきのとう調理の様子



参加者の声

- ・ とても楽しく参加させていただきました。
- ・ はじめての体験を子供にさせてあげることができよかったです。
- ・ 春の息吹を満喫して楽しいひとときでした。
- ・ 子供のころを思い、田舎を思い出しました。



【写真 2】里山ライフ体験事業
「親子でつくろう！稲わらリース体験教室」（長屋門公園）の様子



参加者の声

- ・ わらに触るのがはじめてでよい体験ができました。
- ・ 先人の知恵に触れ、学ぶきっかけになると思います。
- ・ 里地里山の文化を継承していく上でもこのような行事は良いと思います。

13 健康の森事業 14 横浜の森の自然・生き物情報発信事業

■概要

市民の森等の樹林地をコースに組み込んだ健康ツアーなどを各種団体等と連携し実施するとともに、ルートの距離標を設置します。【健康の森事業】

また、市民の森等の周知や利用促進を図るため、樹林地における自然・生き物情報のパンフレットを作成し情報発信します。【横浜の森の自然・生き物情報発信事業】

■事業実績

・健康の森事業：

ガイドツアーの実施 8回 参加者77人
横浜市最大の緑地をめぐるスタンプラリー 12月～3月
既存施設とガイドマップを活用した距離の明示

【写真1】

・横浜の森の自然・生き物情報発信事業：

樹林地ガイドマップの作成 3地域
(横浜自然観察の森、川井・矢指・上瀬谷周辺、舞岡・野庭周辺)

【写真2】



【写真1-1】健康の森事業
「森林浴～セラピー体験ウォーク～」
(保土ヶ谷区・陣ヶ下溪谷公園)の様子

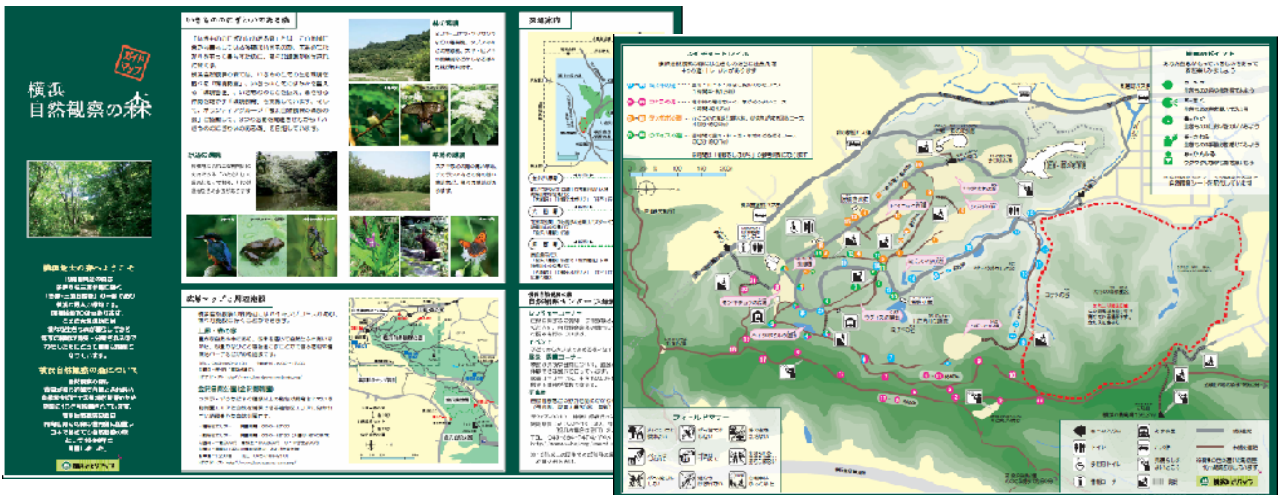


【写真1-2】健康の森事業
横浜市最大の緑地（自然観察の森）
をめぐるスタンプラリー帳



参加者の声

- ・自然や野鳥観察が楽しめ、神奈川にも自然がたくさんあることを知った。
- ・森の良い空気を吸い、リフレッシュできた。また参加したい。
- ・森のもつ力は本当にすごいと思いました。これからも近い所なので来ようと思います。



【写真2】横浜の森の自然・生き物情報発信事業

自然観察の森ガイドマップ

15 みどりの夢かなえます事業

■概要

市民が森づくりに関する夢のある提案をし、直接参画して取り組めるよう市民提案制度を創設し、市民の自発的な活動を支援します。

■事業実績

- ・市民提案制度の創設
- ・制度に基づく事業募集、審査、助成（3事業）
＜助成事業＞
「樹木医と瀬上を歩く」「瀬上の未来をみんなで考えよう」シンポジウム等
（縄文自然クラブ）
新治の里山・セルフガイドシステム構築事業
（NPO法人新治里山「わ」を広げる会）
市民による「森を知る・触れ合う・育む」学びあいネットワーク構築事業
（NPO法人よこはま里山研究所）



●みどりの夢かなえます事業実績
（縄文自然クラブ：樹木医と瀬上を歩く）



●提案募集の案内

参加者の声

- ・シンポジウムに参加して、瀬上の緑の保全の必要性が理解できた。
- ・次代に引継ぐために自然の保全に努めなければならない。
- ・自然を残して欲しいと思う、維持してほしい。

16 間伐材資源循環事業 17 間伐材クラフト作成事業

概要

森づくり団体が行う、森の管理で生じた間伐材をチップ化して園路に敷く等の活動を支援し、森の手入れを促進します。【間伐材資源循環事業】

また、市民を対象に、間伐材を活用したクラフト作成ワークショップ等を開催します。【間伐材クラフト作成事業】

事業実績

- ・ 間伐材資源循環事業： 【写真1】
 間伐材チップ化作業支援制度の創設
 チップ化作業リスクマネジメント研修 3回（参加者 49人）
 間伐材チップ化作業支援 28回（市民の森等8箇所で開催）
- ・ 間伐材クラフト作成事業： 【写真2】
 クラフト作成教室の開催 14回（参加者 352人）



【写真1-1】間伐材資源循環事業
チップ化作業リスクマネジメント研修



【写真1-2】間伐材資源循環事業
機械によるチップ化作業支援の状況



【写真1-3】間伐材資源循環事業
チップを散策路に敷き詰めた状況



参加者の声

- ・ 森がきれいになってよかった。
- ・ 愛護会のこれからの作業のためにも勉強になった。
- ・ これからも定期的にチップ化作業支援制度を利用したい。



【写真2】間伐材クラフト作成事業
「間伐材で表札を作ろう」の様子



参加者の声

- ・ 普段はあまり触れることのないスギやヒノキなどの木を使い子供達が自由な発想で作る工作はとても良い体験になったと思います。
- ・ 間伐材についての興味も深まりました。

18 愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業

19 ウェルカムセンター整備事業

■概要

愛護会や森づくりボランティアの活動が活性化するように、道具置き場等の活動拠点を整備します。【愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業】

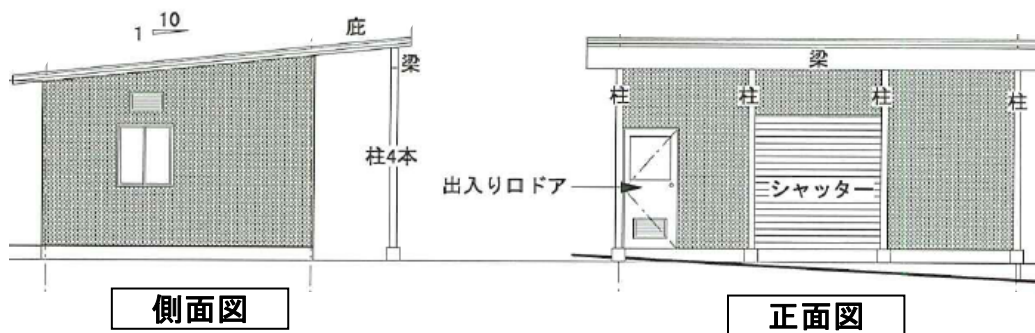
また、市民が気軽に立ち寄り、森の散策情報やイベント情報等が得られるなど、市民が森を利用しやすい機能を備えたウェルカムセンターを設置します【ウェルカムセンター整備事業】

■事業実績

- ・愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業： 【写真1・図1】
活動拠点の設計の実施（もえぎ野ふれあい樹林・青葉区）
- ・ウェルカムセンター整備事業：
ウェルカムセンターの持つ情報発信機能や学習拠点としての機能を踏まえ、モデルケースとして、「横浜自然観察の森」の既存施設の効率的な活用について検討しました。



【写真1】愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業
もえぎ野ふれあい樹林（青葉区）



【図1】愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業
活動拠点を設置する計画のもえぎのふれあい樹林と活動拠点の基本設計



- ・良い建物が出来そうだね。
- ・ここを拠点に活動したい。

■ 森の恵み塾事業 開催状況

	イベント名（内容）	開催日	開催場所	区
第1回	親子で探そう！森の恵み探偵団	H21.4.26	横浜公園	中
第2回	親子で木に名札をつけよう！in大丸山	H21.6.7	横浜自然観察の森	金沢
第3回	森のかけらのストラップをつくろう①(久良岐公園)	H21.6.20	久良岐公園	港南
第4回	森へのお誘いワークショップ	H21.6.28	クィーンズスクエア	西
第5回	森のかけらのストラップをつくろう②(金沢動物園)	H21.7.4	金沢動物園	金沢
第6回	森のこどもまつり①「自然の中はパパの出番！」	H21.7.20	上郷・森の家	栄
第7～ 17回	森のこどもまつり②「家族で楽しむ自然体験」	H21.7.25	横浜自然観察の森	栄
	a～野鳥写真家と歩く森			
	b～自然素材でつくる楽器作り			
	c～夏の昆虫観察会			
	d～フェイスペインティング体験			
	e～円海山の野鳥の現状を知るツアー			
	f～ちびっこの森探検ワークショップ			
	g～水辺のいきものを知るワークショップ			
	h～自然と遊ぼうスペシャルガイドツアー			
	i～いきものぬりえコーナー			
	j～観察の森いきもの紙芝居			
k～みどりアップ計画紙芝居 ほか				
第18～ 21回	自然観察ツアー①～④「自然体感ツアー」	H21.8.8,9,15,16	よこはま動物園ズーラシア	旭
第22回	森の恵み教室① 「サラリーマンが竹の専門家になったワケ」	H21.10.2	かながわ県民センター	神奈川
第23回	森の恵み教室② 「横浜の森は魅力いっぱい！」	H21.10.14	かながわ県民センター	神奈川
第24回	森のかけらのストラップをつくろう③ (「開港150周年の森」植樹祭)	H21.10.17	旧小柴貯油施設	金沢
第25回	森の住人 森ボックル&どんぐり鳥のストラップをつくろう①	H22.1.23	横浜自然観察の森	栄
第26回	みどりのCSR活動入門セミナー 「企業が作る環境行動都市の未来」	H22.2.3	横浜商工会議所大会議室	中
第27回	バードセイバーづくりから横浜の「みどり」を学ぶ	H22.2.24	横浜自然観察の森	栄
第28回	横浜の森～現在の姿を知る～	H22.3.2	市民活動支援センター	西
第29回	森の住人 森ボックル&どんぐり鳥のストラップをつくろう②	H22.3.6	横浜自然観察の森	栄
第30回	自然観察ツアー⑥	H22.3.14	こども自然公園	旭
第31回	森の住人 森ボックル&どんぐり鳥のストラップをつくろう③	H22.3.20	横浜自然観察の森	栄
第32回	みなとみらい農家朝市クラフト作成	H22.3.27	高島中央公園	西

20 森の恵み塾事業

■ 概要

多くの市民を対象に、森づくりへの関心を高め、ボランティア活動の契機となるよう、樹林地の特性を生かした多様なメニューによる森林教室「森の恵み塾」を開催します。

■ 事業実績

- ・森の恵み塾の開催：
横浜市北部や南部の樹林地を拠点として、32回開催。（参加者 1,840人）



●自然観察ツアー（横浜動物の森公園）



●自然の中はパパの出番（上郷・森の家）



●家族で楽しむ自然体験（横浜自然観察の森）



●横浜の森の恵み教室「横浜の森～現在の姿を知る～」
（市民活動支援センター）



●家族で楽しむ自然体験（横浜自然観察の森）



●案内チラシ



参加者の声

- ・横浜にはどういう森があって、どんな木がはえているのか知ることができ有意義でした。
- ・森を身近に感じた。
- ・森に行きたくなりました。木にのぼりたくなりました。楽しかったです。